

第37期第8回理事会議事録

日 時：2013年9月18日（水）13時30分～18時10分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席理事：新野，藤谷，経田，近藤*，佐藤（正），塩谷，竹見，中島**，中村（健）*，
平井，藤部，三上，以上12名

Web会議システムを通じた出席理事：長谷部，余田***，以上2名

*：議題3から出席

**：議題2から出席

***：議題6の中途から退席

（理事現在数20名）

その他の出席者：田沢，渡辺（事務局）

議 題

1. 第37期第7回理事会議事録の確認

2. 会員の新規加入等について

新入会員35，退会54を全会一致で承認。2013年9月13日現在，会員数3,678名で個人会員は3,421名。

3. 選挙管理委員長の選任

新野理事長より気象庁予報部の竹内義明会員に第38期役員候補者選挙管理委員会（以下選管委員会）委員長を委嘱することの提案があり，全会一致で承認した。また，これまで委員長及び委員の殆どを気象庁職員である会員に委嘱してきたことについて，議論した。さらに，役員候補者選挙実施要領の作成を第38期選管委員会に要請することを了解した。

4. 理事候補者の定数

理事長より，第38期役員の理事候補者の定数を，現理事数20から業務遂行を担う業務執行理事数3を除く17とすることが提案され全会一致で承認した。

5. 沖縄支部規程の改正

沖縄支部の支部規程の改正を全会一致で承認した。

6. 各委員会からの報告

庶務…

1) 転載許可

①申請者：気象庁予報部数値予報課長竹内義明転載元：図11.12，齊藤和雄，加藤輝之，1999：気象研究所非静力学メソスケールモデル，気象研究ノート，第196号，169-195。図1，大森志郎，山田芳則，2003：現業用NHMにおけるKain-Fritschスキームの導入について。第5回非静力学モデルに関するワークショップ講演予稿集，26-27。

転載先：図 1.2.7, 平成 16 年度数値予報研修テキスト「非静力学メソ数値予報モデルの現業化」

②申請者：気象庁予報部数値予報課長竹内義明

転載元：Fig.1(a)他, Matsuo, T., Y. Sasyo and Y. Sato, 1981: Relationship between types of precipitation on the ground and surface meteorological elements. J. Meteor. Soc. Japan, 59, 462-475.

転載先：図 3.9.1, 平成 19 年度数値予報研修テキスト「新しい数値予報モデルの特性」

③申請者：柳野健

転載元：小倉義光、1966: 最近の気象力学 (I), 気象研究ノート, 第 89 号, 1-61.

・ Ogura, Y. and J.G. Charney 1962: A numerical model of thermal convection in the atmosphere. In Proc. International Symposium on Numerical Weather Prediction in Tokyo, 1960, . Meteor. Soc. 431-452

・ Fig.2, Hirota, I., 1968: On the dynamics of long and ultra-long waves in a baroclinic zonal current, J. Meteor. Soc. Japan, Vol.46, No.3, 234-249.

・ 第 8 図, 二階堂義信, 1986: Q-map (等温位面上で解析された渦位分布図) その 2, 天気, Vol.33, No.7, 300-331.

転載先：気象研究ノート「気象力学および非弾性力学入門」

2) 後援名義等使用依頼受付

①名称：第 14 回こどものためのジオ・カーニバル

主催：こどものためのジオ・カーニバル企画委員会

期日：2013 年 11 月 2～3 日

場所：大阪市立科学館

名義：後援

②名称：第 15 回可視化フロンティア「LIF/PSP/TSP 講習会 2013」

主催：可視化情報学会

期日：2013 年 10 月 30 日

場所：LMJ 東京研修センター

名義：協賛

3) 会員電子メールアドレスの収集を来年の定時総会情報の連絡時に活用することを目指して準備を進めることが報告された。各委員会の関連業も含めて議論し、更なる事務等の効率化と会員向けサービスの充実を目指した、気象学会サーバと会員アカウントのあり方を新設のワーキンググループにて検討することとした。

4) その他

・ 8 月 16 日：岸保賞、正野賞の副賞メダルのデザイン公募を HP に掲載 (天気掲載 10 月号)。

・新会員管理システムへの移行作業が進み、9月30日に旧新システムの切り替え予定。
会計…2013年7月分及び8月分の収支及び現預金検査報告。

天気…Vol. 60 No. 9, 10 (2013年9, 10月号)の掲載記事と、Vol. 60 No. 11 (2013年11月号)
の予定記事の報告。

・印刷業者を決める入札手続きの準備状況の報告。入札は来月に実施する予定。
気象集誌…Vol. 91 No. 5と特別号Vol. 91Aの掲載記事の報告。

・著者負担としている和文要旨の「天気」投稿料について、印刷の実費水準程度に
減額することが報告された。

気象研究ノート…『1993年以前に刊行した「気象研究ノート」に関する著作権の学会へ
の委譲についてのお願い』に関して具体的な提案をした会員に個別回答で対応した
ところ、快諾を得られたとの報告があった。

SOLA…投稿論文の処理状況についての報告。

講演企画…2013年度秋季大会と2014年度春季大会の準備状況の報告。秋季大会の発表件
数が540件と非常に多い。その一方で、口頭発表1件あたりの割当時間は必要最低
限となった点を問題視しており、今後時間を増やす対処案を複数挙げて委員会で検
討するとの説明があった。

・電子版予稿集に関するアンケートの結果と事業化の見通しを、2013年度秋季大会
予稿集に追記することが報告された。

・日本地球惑星科学連合大会における気象学会主催セッションについての報告。
提案が1件あり、これを日本地球惑星科学連合に提案することを全会一致で了
承した。

企画調整…第1回支部長会議の議事概要が確定したこと、「天気」の10月号に掲載するこ
とが報告された。

・役員候補者選挙を実施するにあたり、早急に定める必要のある実施要領に関する
問題点等について、報告があった。

学術…日本地球惑星科学連合からの今後の宇宙開発体制のあり方に関する利用コミ
ュニティ設置に関する依頼とその回答についての報告。設置に賛同すること、
同コミュニティの中の連絡・調整担当者を早坂忠裕地球観測惑星部会長とする
ことを了承した。

教育と普及…夏季大学が無事に終了したことが報告された。

表彰…岸保賞、正野賞、山本賞の各候補者推薦委員会委員長から委員名簿の提出があり、
全会一致で承認した。

国際学術交流…余田理事より、IFMS (International Forum of Meteorological
Societies) 第3回会合 (Reading, UK) の出席報告。次回は2015年アルゼンチン・
ブエノスアイレスで開催予定。

・今年の第6回日本・中国・韓国気象学会共催国際会議の準備状況の報告。主催者
の中国気象学会より、149件の発表申込があったとの連絡あり。

- ・2014年以降の日中韓気象学会共催国際会議をAOGS中のセッションとして設定する提案に関する報告があった。7月11日、理事長名による提案文書を中国に送付したものの、返信がないまま第6回国際会議の場に臨む状況となっているとの説明があった。

- ・2014年のAOGS札幌大会時のセッション提案から講演発表者受付までのスケジュールが報告された。今後の作業は、AOGSシンガポール事務局・日本地球惑星科学連合・札幌事務局で分担することになる。

電子情報…学会本部HP内での支部及び気象集誌のサブドメインの設置方針を定めたことの報告があった。東北支部及び気象集誌編集委員会を設ける予定。

- ・天気サーバの更新についての検討状況の報告。新たに別サーバを借りて環境を移植・構築する計画について議論した。

地球環境…温暖化書籍出版事業の進捗状況の報告。予定通り、第1稿が集まった。

- ・フューチャーアースへの貢献のための世界気候研究計画(WCRP)関連分野からの提案についての報告。

気象災害…秋季大会前日に、メソ気象研究連絡会との共催で「2013年7・8月豪雨災害に関する研究会」を開催することが報告された。

人材育成・男女共同参画…理事長より、労働契約法改正に伴う問題に関する声明等の動向について報告があった。

7. その他

- ・中島理事より、日本学術会議の「夢のロードマップ」改訂に関する説明があった。

- ・気象教育研究連絡会より同連絡会廃止の連絡があり、受理することを了承した。今後の初等・中等教育に関する活動について、教育と普及委員会の下に設置する教育部会が中心となる。

- ・学会内組織の英語名称について、各委員会・研究連絡会からの提案が報告され、全体の統一性などを検討した。

- ・事務局より学会臨時職員の有給休暇とその付与方法について報告された。

- ・事務局より、調達に関するポリシーの検討状況について報告があった。

平成25年10月30日

公益社団法人日本気象学会

理事長 新野 宏